

避難行動判定フロー

～とるべき行動を確認しよう～

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」で、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

経過	気象状況の悪化	災害発生のおそれあり	洪水・土砂災害の発生危険性が高まる	災害発生
警戒レベル	早期注意情報 (気象庁) 警戒レベル 1	警戒レベル 3 高齢者等避難 発令	警戒レベル 4 避難指示 発令	警戒レベル 5 緊急安全確保 発令
	情報収集し、避難行動を確認しましょう。	避難に時間を要する方は、避難を開始してください。 高齢の方、障がいのある方、乳幼児等とその支援者は避難を開始しましょう。 その他の方もいつでも避難できるよう準備してください。 避難準備を整え「防災気象情報」や「河川水位情報」等に注意し、危険な場所にいる方は、早めに避難してください。	避難場所へ速やかに避難してください。 対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難してください。	命を守るための最善の行動をとってください。 すでに災害が発生または切迫しており、命が危険な状況です。自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保するための行動をとりましょう。
あなたがとるべき避難行動は？	スタート! ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。 自宅がある場所に色が塗られていますか？ いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそば等にお住まいの方は、町からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。 はい → 災害の危険があるので、原則として※自宅の外に避難が必要です。 例外 → ※浸水の可能性があっても、 ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である ②浸水する深さよりも高いところにいる ③水・食糧等の備えが十分で、浸水しても水がひくまで我慢できる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。 ※土砂災害の可能性があっても、十分堅固なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。 ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？ はい → 安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？ いいえ → 警戒レベル3が出たら、町が開設している指定避難所などに避難しましょう。 はい → 警戒レベル3が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。(目頃から相談しておきましょう) 安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？ はい → 警戒レベル4が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。(目頃から相談しておきましょう) いいえ → 警戒レベル4が出たら、町が開設している指定避難所などに避難しましょう。 メモ① 500m歩くのにかかる時間 避難にかかる時間を知っておくことも大切です。 ●大人………約6～8分 ●高齢者………約10分 メモ② 人が行動できなくなる水の深さ ひざの高さを超える水の深さでは歩くことが難しくなります。 ●大人の女性………水位50cm ●大人の男性………水位70cm メモ③ 浸水した時の注意点 氾濫した水は濁っているため、側溝や段差、開いたマンホールのふたなどが見えなくなります。洪水の中での避難は、できるだけ避けましょう。			
行動	情報収集し、避難行動を確認!	危険な場所から高齢者等は避難!	危険な場所から全員避難!!	命の危険直ちに安全確保!